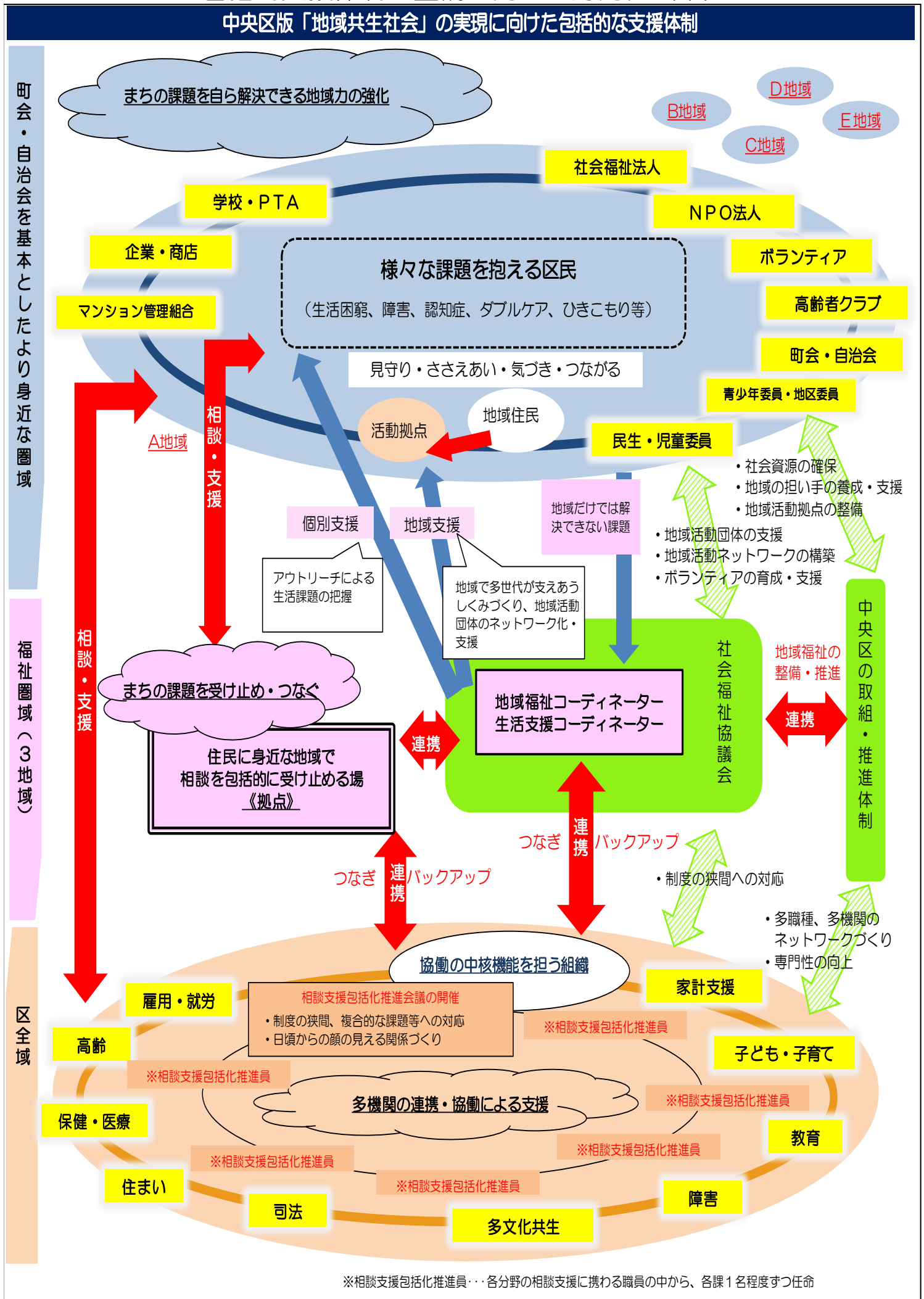


包括的支援体制の整備に向けた方向性（案）

中央区版「地域共生社会」の実現に向けた包括的な支援体制



※相談支援包括化推進員・・・各分野の相談支援に携わる職員の中から、各課1名程度ずつ任命

【ご意見等】

- ①包括的な支援体制が一つの体制として成り立つためには、「ロジックモデル」を活用するなど、目指すべき姿の共有が必要と思われる。
- ②「地域共生」に向けて行政、関係機関、地域が共通認識に立てるような方策を皆さんと一緒に考えていきたいと思う。
- ③相談支援包括化推進員（仮称）、相談支援包括化連絡会議（仮称）の位置づけを明記してほしい。
- ④「区全域」の部分に、「生きづらさ」の典型とも言えるべき「自殺対策」も入れるべきではないか。
- ⑤「様々な課題を抱える区民」の中に、「高齢者・障害者・子ども・外国人」と縦割りを想起させるような表記があることに違和感を覚える。「年齢・性別・障害種別等を問わず」という表記に変えるか、「高齢者」以下の記載を削除しても良いと思う。
- ⑥体制図の中に社協をキー的に位置づけ、その役割もどこかで触れてほしい。
- ⑦まずは体制整備のための人材が必要である。「地域共生課」のような部署が全体を俯瞰しながら調整し進めていく必要がある。
- ⑧「ロジックモデル」のようなものを作り、推進する時期や期間、プレイヤーの役割及びタスクで整理を行い、本体制を支援する協議会を発足させていくことでドライブがかかると思われる。
- ⑨まずは包括的な体制をどのように作るかが明確になっており、その中に「ささえ合い」のしくみづくりが入ってくると考えられることから、切り離しての議論や検討はあまり意味がないと考える。

→相談支援包括化推進員（仮称）、相談支援包括化推進会議（仮称）、社会福祉協議会等を体制図に反映。

【1】包括的な相談支援体制の整備について

①身近な地域で相談を包括的に受け止める場の整備

地域住民の相談を住民に身近な地域で包括的に受け止め、関係機関と連携し適切な支援につなぐ場を整備します。あわせて、福祉圏域の今後のあり方についても検討を進めます。

【新たな取組案】

- 既存の機能・組織の再編による拠点づくり

【ご意見等】

- ①おとしより相談センターのほかにも、何かあったときにすぐ対応してもらえる場があるとよい。
- ②地域住民だれもが気軽に立ち寄って相談できる居場所づくりが必要である。
- ③地域包括支援センターという、本来の意味で全てを受け止める体制ができたらい。
- ④全体を受け止めてくれるところが、おとしより相談センターのように身近に、いつでもどこでも相談できるところが一つあったらよい。

②アウトリーチ（地域に出向く支援活動）による支援の充実

公的な支援の要件を満たさない「制度の狭間」にある世帯や、社会的に孤立しがちな世帯に対し、アウトリーチによる支援を積極的に行います。

【新たな取組案】

- 地域福祉コーディネーター及び生活支援コーディネーターの拡充

【ご意見等】

- ①個別支援と地域支援を担う地域福祉コーディネーターの配置目標（増員目標）を計画の中に盛り込んでほしい。

→計画書（案）にコーディネーターの配置に関する区の考え方、方向性を明記する。具体的な数値目標は個別計画や社会福祉協議会の地域福祉活動計画に盛り込む方向で検討する。

③相談支援包括化のための多機関連携強化

各相談支援機関や区の関係部署で受けた、高齢、障害、子ども・子育て、生活困窮などさまざまな相談を、世帯全体の課題として受け止め、各相談支援機関が連携して支援を行うことができる体制強化を図ります。

【新たな取組案】

- 多機関協働の中核機能を担う組織の明確化
- 相談支援包括化推進員（仮称）の任命
- 相談支援包括化推進連絡会議（仮称）の開催

【ご意見等】

- ①相談支援包括化推進員の設置にあたっては、課の線引きをせずどこまで役割をはみ出せるかというところを意識して取り組んでほしい。
- ②既存の制度では解決できない抜け落ちた問題を受け止めるセーフティネットのようなものは作らないのか。
- ③相談支援包括化推進員、相談支援包括化推進連絡会議の役割、機能について、内容の説明を入れてほしい。
- ④厚生労働省から示された「地域共生社会に向けた包括的支援と多様な参加・協働の推進に関する検討会（地域共生社会推進検討会）」の中間とりまとめにより、今後、福祉事務所が多機関協働を担う組織として位置づけられたり、伴走型支援の充実やそれに伴う社協との協働等も検討されるのではないかと思う。
- ⑤多機関連携強化は重要な役割であると思う。
- ⑥取り組みが始まってからの地域単位での連絡会や区全体での連絡会等、階層的に共有・課題の整理等の見直しが必要であると思う。こうした連絡会等の体制の整備まで明記できているとよいと思う。

→相談支援包括化推進員（仮称）を設置し、自らの担当分野にとどまらず視野を広げていくことでセーフティネットとしての役割を果たすとともに、行政で対応しきれないものは地域福祉コーディネーターと連携して、制度の狭間の問題を受け止めていく。

また、相談支援包括化推進会議（仮称）を地域単位での連絡会として位置づけるなど、計画策定後、連絡会等の体制について検討を進めていく。

④包括的継続的マネジメント支援の推進

各相談支援機関や区の関係部署においては、課題の解決に有効なさまざまな社会資源を本人の意思に基づきコーディネートし、必要なときに必要な支援を切れ目なく活用できるよう支援する包括的・継続的マネジメント力を高めることが必要です。関係機関や事業者等が参加する地域ケア会議等の個別ケース会議において事例検討等を積み重ね、事業者等のマネジメント力の向上を図るとともに、福祉・医療・司法などの経験豊富な専門職との連携によるバックアップ体制を推進していきます。

【新たな取組案】

- 専門職との連携によるバックアップ体制の推進

【ご意見等】

- ①民生委員から情報提供などの協力はしていくが、相談支援機関の職員が実際に動いて、本当に本人に喜んでもらえるような支援をしてもらいたい。

⑤ソーシャルワーク機能の向上

包括的な相談支援体制の構築にあたっては、相談を受けた職員がニーズを的確に把握し、適切なサービスをコーディネートする力が必要です。各相談支援機関や区の関係部署が相互に研修を実施するなど、分野横断的な知識やアセスメント力、調整力等の能力を身に付けるための取組みを実施します。

【新たな取組案】

- 各相談支援機関や区の関係部署相互による合同研修の実施

【ご意見等】

- ①行政の職員の質が変わらなければ、横串をさすことはできない。たらい回しをしないような職員の共通認識が必要である。

→合同研修等を実施し職員のソーシャルワーク機能の向上に努める。

【2】地域のささえ合いのしくみづくりについて

①地域コミュニティの活性化

町会・自治会の活動を支援するとともに、様々なコミュニティとの協働により地域コミュニティの活性化に取り組んでいきます。また、分譲マンションの区分所有者間や管理組合同士の情報交換等が活発に行われるよう、交流会の活動支援やインターネット上のシステム提供などを行います。

【参考事業】

- 町会・自治会情報誌の作成による加入促進活動の支援
- 町会・自治会ネットによる情報発信、連携強化
- 防災訓練等地域活動を通じたコミュニティ形成の推進
- コミュニティ連絡相談員の配置
- 分譲マンション管理組合交流会への支援
- 分譲マンション管理組合支援システム「すまいるコミュニティ」の運用

【ご意見等】

- ①町会だけでなく、様々な人を交えた協議体ができれば、地域の担い手も手が挙がってくるのではないかと。教育、環境、防災などに特化して地域を支えていこうという人を取り込んで地域を活性化していけばよいのではないかと。
- ②世帯の9割を占めるマンション居住者、特に管理組合とどのように関係をつけるか、今後の課題だと思いが、これについても記述してほしい。
- ③地域での活動を周知する機会が必要ではないかと。

→上記本文中に反映。

②多世代交流の促進

各種講座やイベント等を通じて住民相互の交流やふれあいを促進し、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。協働提案事業による活動等を通じ、30代から40代の方が地域コミュニティにかかわるきっかけとなる事業を行うほか、地域福祉コーディネーター等によるみんなの食堂の開設・運営支援を行い多世代交流の促進を図ります。

【参考事業】

- 地域手づくりイベント・盆おどりに対する助成
- コミュニティふれあい銭湯の実施
- 場づくり入門講座の開催
- 大江戸まつり盆おどり大会
- 雪まつり
- 勝どきテイルーム「おとなりカフェ・ちょこっと相談会」の開催

【新たな取組案】

- 地域福祉コーディネーター及び生活支援コーディネーターの拡充（再掲）

【ご意見等】

- ①30代～40代の子育て世代の増加や人口増加に伴い、町会・自治会単位でなく、幅広い世代の方が定期的に話し合う場があるとよい。
- ②地域のささえ合いがそのまま多世代交流につながっていくようなイメージが盛り込めると良いと思う。支える側と支えられる側が固定せず、緩やかに循環するような仕組みがこれからの地域づくりには必要だと思う。
- ③町会内での行事に参加しやすい工夫をもっと考える。

→上記本文中及び新たな取組案に反映。

③コミュニティ活動の場づくり支援

コミュニティルームや区民館等の交流・活動の場を提供するとともに、仲間づくりや健康づくりの拠点として、既存施設の活用を促進するとともに、施設改修等の機会を捉えて住民に身近な地域活動拠点を整備していきます。区内社会福祉法人との連携を強化し、地域福祉ニーズを捉えた地域公益活動の促進に取り組んでいきます。

【参考事業】

- コミュニティルームの整備
- 区民館の管理運営
- いきいき館の管理運営
- シニアセンターの管理運営
- 場づくり入門講座の開催（再掲）
- 高齢者通いの場支援事業
- 場づくり支援事業
- まちひととサイトの運営
- 勝どきデイルーム「おとなりカフェ・ちょこっと相談会」の開催（再掲）
- 集会室や公開空地等住宅や住環境を活用したコミュニティ活動の場づくり支援
- 認知症カフェの運営支援
- 地域公益活動に取り組む社会福祉法人との連携強化

【新たな取組案】

- 施設改修等の機会を捉えた地域活動拠点の整備

【ご意見等】

- ①障害者の日中活動の場が少ない。障害者に対する理解を住民へ広げたい。
- ②居場所の名称は、おとしより相談などと特定せず誰もが相談に行きやすい名称にした方がよいと思う。

→上記本文中及び参考事業に反映。

④重層的な見守り体制の整備

従来の町会・自治会、民生・児童委員、青少年委員といった地域の支援者による見守り支援はもとより、マンションの管理組合やさまざまな地域活動に携わるボランティアの気づき、宅配等サービス事業者の見守り等による重層的な見守りネットワークを構築し、孤立化を防止します。

【参考事業】

- 民生・児童委員の活動支援
- 青少年対策地区委員会の活動支援
- 地域見守り活動支援
- 認知症サポーター、ささえあいサポーター等の人材を活用した支え合いのしくみづくり
- 事業者との地域見守り協定の締結
- 災害時地域たすけあい名簿の活用

【新たな取組案】

- 地域支えあい協議体を活用するなど全世代型の地域生活課題・ニーズの把握、新たな資源の創出

【ご意見等】

- ①認知症サポーターやささえあいサポーターは、【3】①地域の担い手の養成 にも再掲した方がよいのではないかと。
- ②認知症サポーターやささえあいサポーターなど養成した人の支援など活用のしくみをどう考えるか。
- ③サポーターや担い手等の養成講座、各種講座の開催等、数や回数を増やしても、それが自己目的化し受講することで完結してしまわないようなしくみが必要になると思う。
- ④サロンは、元気な方は参加できるが、出向いていけない方をどうするのかという問題がある。見守り活動の活性化が孤立防止につながると思う。

→上記参考事業及び新たな取組案、【3】①の参考事業に反映。

【3】地域の担い手の養成・支援について

①地域の担い手の養成

地域における顔の見えるつながりや生きがいとしての地域活動を学ぶ講座を開催するなど、地域の担い手を発掘・養成し、地域コミュニティの活性化を推進していきます。

【参考事業】

- 地域コミュニティの担い手養成塾の開催
- さわやか体操リーダーの養成
- 元気応援サポーターの養成
- 元気高齢者人材バンクの活動支援
- 場づくり入門講座の開催（再掲）
- ボランティア講座の開催
- 認知症サポーター養成講座・ステップアップ講座の開催
- ささえあいサポーターの養成
- ゲートキーパー養成講座の開催

【ご意見等】

- ①「担い手の確保」という表記に違和感がある。住民主体で地域課題の解決を図るために必要な担い手であるなら、確保ではなく、「発掘」「養成」に留めるべきではないかと感じた。
- ②子育て世代の確保のために、学校や保育園等にリーフレットを配布し興味を持ってもらい、子育てが落ち着いたら参加してもらえよう長期的な取組も有効であると思う。

→【3】に反映

②さまざまな主体による協働

「協働ステーション中央」を拠点として、各種団体の活動の場や交流の機会の提供、専門相談や情報提供等の支援を行い、区や団体間のネットワーク形成及び強化を図るとともに、社会福祉協議会と連携しながら、住民が主体となった地域福祉活動の取り組みを普及・推進していきます。勝どきダイルームを拠点とした住民主体による地域に関われた活動をさまざまな形で全区的に展開できるような取り組みを推進します。

【参考事業】

- 協働事業の実施
- 協働ステーション中央の管理運営
- 中央ぷらねっと（社会貢献企業連絡会）など区内企業やNPO法人等との協働の促進及び活動支援
- 勝どきダイルーム「おとなりカフェ・ちょこっと相談会」の開催（再掲）
- 虹のサービス

【新たな取組案】

- 地域福祉コーディネーター及び生活支援コーディネーターの拡充（再掲）
- 地域活動団体のネットワーク化の促進

【ご意見等】

- ①住民参加型の在宅サービス（虹のサービス）は、町会ベースでないコミュニティづくりに貢献しているため、記載してもよいのではないか。
- ②豊島区の「とこネット」のようなネットワークの場を中央区でもつくっていただきたい。

→上記参考事業及び新たな取組案に反映。